

今月のスマイル



↓ JICA 青年海外協力隊として活躍が期待される小倉さん



海外で体育の素晴らしさを伝えに行く

11月25日、今年の12月から約2年間、JICA 青年海外協力隊として実習の手伝いや体育の授業を行うため、ジンバブエ共和国に派遣される小倉奨平さん(新治)が市役所を訪問。小倉さんは「世界には体育の素晴らしさを学びたくても学べない環境があり、これまで自分が培ってきた経験を伝えるため協力隊に参加することを決意した」と話してくれました。

↓ 市長に「住み続けたいまちづくり」について提案する生徒



市長と中学生の懇談会 市長に中学生の意見を伝えよう

11月15日、「市長と話そう!かすみーていんぐ」を開催。霞ヶ浦中学校の3年生6人が市長と懇談しました。「今のかすみがうら市をどう思うか」「僕(私)の描く将来のかすみがうら市」をテーマに対話し、中学生の視点から「住み続けたいまちづくり」の提案がありました。生徒からは「市長と直接対話ができ、貴重な体験となりました」と感想がありました。

女性 パープルリボン啓発運動 性に対する暴力をなくそう

11月17日、あじさい館で「パープルリボン啓発運動」を実施。パープルリボンは、女性に対するあらゆる暴力をなくしていこうというメッセージが込められており、ホールでは、市高校生会の協力のもと飾られたクリスマスツリーに、メッセージに賛同した子どもから大人まで多くの方がパープルリボンを付けていました。



↑ クリスマスツリーにパープルリボンを取り付ける参加者

人 DV 防止講座 人と人のよりよい関係をつくるために

11月20日、つくば国際大学東風高等学校で「デートDVって何?」と題した出前講座を実施。この講座は、茨城県女性プラザから講師を招き、市男女共同参画推進協力委員の協力のもと、男女共同参画事業の一環として実施。今年は「人と人のよりよい関係をつくるために」をテーマに、DVを引き起こさない方法や人とのどのように関係を作るかを学んでいました。



↑ デートDVについて真剣に学ぶ東風高等学校1年生

いる一生懸命にやることと、継続して一つのことをやり遂げる大切さを伝える佐々木節子さん
はに副走者選ばれた心境や、当日、何も覚えていないほど緊張したと語る辻信行さん



まちのわだい My Town Topics

オ 東京オリンピック講演会 オリンピックの思いをつなぐ

10月18、28日に下稲吉東小学校で「1964年東京オリンピックを子どもたちに伝える講演会」を開講。18日の講師を務めた佐々木節子さんは中佐谷出身で女子バレーボールで金メダルを獲得したメンバー。28日の講師を務めた辻信行さんは下佐谷出身で聖火ランナーの副走者。佐々木さんからは日々の厳しい練習に耐えたことや思いやりを持って人と接することの大切さ、辻さんからは副走者に決まった経緯や当日の心境など貴重な体験を話してくれました。児童は真剣な眼差しで聞き、自分たちもオリンピックとどのように関わることができるのか考えていました。

↓トラックの左折時に死角に入ると事故が起きる瞬間を実演



危 トラック協会土浦支部による交通安全教室 ない!トラックに潜む危険

11月12日、下稲吉小学校で「交通安全教室」を開講。トラックは車よりも車体や内輪差が大きいため、死角が多く存在し、思いもよらない事故に巻き込まれることがあります。実際にトラックと自転車を使用し、起こりうる事故を実演。児童たちは左折時の巻き込み事故について、事故の恐怖と気をつけるべき点やトラックに潜む危険を学んでいました。

命 総合防災訓練 を守るための行動を学ぶ

11月17日、「総合防災訓練」を実施し、1,278人が参加。今年は風水害やそれらに伴う災害が発生したことを想定。市内全域での避難訓練を実施後、歩崎公園では浸水歩行訓練や災害時に役立つ知識や行動などを学ぶ市民体験型訓練、消防本部・消防団による訓練を開催。浸水歩行訓練では、参加者に強い水流の中を歩く難しさを体験してもらいました。



↑ 強い水の流れに足をとられ、歩く大変さを体験